

# 産む力と生まれる力を信じて、感動の瞬間をあなたと共に

自治医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター

助産師 大田原 由佳

「助産師」という職業をご存知ですか

助産師は女性の妊娠・出産・産褥の各時期において必要なケア・助言を行い、自分自身の責任において分娩介助をし、新生児及び乳児のケアを行うことができる資格です。また、日本では助産師国家試験の受験資格は女性のみであり、女性だけに与えられた資格となっています。

当院は総合周産期母子医療センターを併設し、合併症妊娠やハイリスク妊娠の管理、治療を多数手がけています。現在助産師42名、看護師27名在籍しており、経験年数は20年以上から新人と幅広く、妊娠期から産褥期にかけて妊産褥婦さんのサポートをしています。

私は幼い頃から漠然と看護師という職業に魅力を感じていました。幼稚園のお遊戯会で「将来何になりたいの?」と聞かれたときに、「看護



「お産のお部屋」  
豊があるアットホームなお部屋です。

婦さんになりたい。」と答えたことを今でも覚えています。その思いを胸に、自治医科大学看護学部に入學しました。大学4年生のときに助産学を専攻したことをきっかけに、女性だけに与えられた助産師という職業に次第に惹かれていきました。助産学の実習で、初めて分娩介助を行ったときは、その責任の重さに「自分に助産師が務まるのか。」と不安に感じることもありましたが、しかし、赤ちゃんの誕生の瞬間、あの一瞬にしか味わうことのできない大きな感動を目の当たりにし、助産師という職業により一層惹かれていきました。何よりも、赤ちゃんと初対面したときの褥婦さんやご家族の笑顔を見ると、幸せな気持ちでいっぱいになります。私は今年1月から院内助産所 La vie (ラ・ヴィ) のメンバーになりました。助産師主体で妊娠期から産褥期にかけて一貫したサポートができることにやりがいを感じ、経験値の高い先輩方から多くの知識を学ぶことができ、日々精進する毎日です。

## 院内助産所 La vie (ラ・ヴィ) について

院内助産所 La vie (ラ・ヴィ) は、フランス語で「命」を意味します。

産まれてくる「命」とその「命」を慈しむ心を応援するという気持ちを含めて、当院の院内助産所は La vie (ラ・ヴィ) と名づけられました。アットホームな助産所でのお産、そして高度医療を提供できる大学病院でのお産、双方の良い部分を提供できる施設を目指しています。助産師が主体となって運営し、妊産婦さんの自主性を尊重して、安全且つ快適に新しい「命」を迎えることができるよう、全力でサポートしています。平成23年開設後、現在に至るまでにたくさんの方の妊産婦さんが La vie で出産されました。妊娠中の10か月は長いようであつという間です。今お腹の中にいる大切な「命」を家族みなさんでどのように迎え入れるか、10か月かけて一緒に考えていきます。

現在、La vie は経験年数8年以上の助産師7名で活動しています。妊娠期には助産師外来を担当し、30分から1時間ゆつくり時間をかけて、超音波検査等を通して、妊産婦さんやご家族に赤ちゃんとの時間を過ごしていただきます。出産は「痛い・怖い」等という否定的なイメージが強い中、La vie で出産される方の多くが、「早く産みたいな。どんなお産になるのか楽しみな。」と

いう思いを抱きながら出産されるのが La vie の特徴の一つではないかと感じています。出産の場面では、まるで自宅にいるようになりリラックスした環境を提供し、出産後も継続的なサポートができるよう努めています。一生に幾度とない妊娠・出産・育児をどのようなものにするか、新しく誕生するかけがえのない「命」をご家族でどのように迎え入れるか、私たちと一緒に考えてみませんか。



私たち助産師が全力でサポートいたします。